

街かど人物館

町のファンになって

「目標はファンが引越してくる町にすること」。埼玉県の旧栗橋町（現・久喜市）の大学生、若林福成さん（19）は東武鉄道の南栗橋駅にちなんだイメージキャラクター「栗橋みなみ」を使った町の活性化に取り組み。限定フィギュアの企画・販売や町の商店が参加するスタンプラリーなどを実施。関西などからもファンが訪れるようになって

「駅キャラ」とおもてなし

た。

活動の原点は旧鷲宮町（現・久喜市）が取り組むアニメ「らき☆すた」を使った町おこし。当時、旧鷲宮町の高校に通っていた若林さんは「らき☆すた」ファンが訪れ、町が活気づくのを目の当たりにした。自分の町でできないか。目を付けたのが、玩具メーカーのトミーテック（栃木県壬生町）が販売する、鉄道駅をモチーフにしたフィギュア「栗橋みなみ」だった。

ファンを呼び込むためスタンプラリーを企画。商品を購入するたびにスタンプを押す、景品を贈呈した。今年8月からは「栗橋みなみ」のイラスト入りの名刺を集める「名刺ラリー」も。「地域のファンになってほしい」とアイデアを練る。

